

新 年

東庄町議会議長
板寺 正範

東庄町長
岩田 利雄

謹 賀

70周年を迎える

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えのことと拝察いたします。

昨年中は、皆さまから多大なご支援・ご協力を賜り、滞りなく各種事業を執行することができました。厚く御礼申し上げます。

さて、東庄町は昭和30年7月20日に誕生し、今年で70周年を迎えます。先人のたゆまぬ努力により本町がめざましい発展を遂げてきたことに心より感謝し、さらなる町政の発展に全力で取り組んでまいります。

町では総合計画や総合戦略を策定し、町政を進めてまいりました。4月からは、地域の皆さまと町が一緒に「町の魅力と未来」を考えた、第3期東庄町総合戦略がスタートいたします。前年までの成果や課題を踏まえたうえで、さまざまな施策を着実に進めてまいります。

全国的に少子高齢化が進む中、町は平成29年に過疎指定を受けました。町民が暮らしやすい町を目指し、人口増を目指してさまざまな事業を展開してまいりました。今年もより一層、住民福祉サービスの充実させてまいります。

人と町の物語

また、新たな行政ニーズや地域課題に対応していくため、DX（デジタルトランスフォーメーション）、デジタル技術の活用を進めてまいります。行政的な需要や効果の高い事業、町の強みを生かした事業について、積極的に対応していきたいと考えております。

町の将来のために、これまで行ってきた結婚・出産などの子育て世代に対する支援を継続するとともに、公共交通など、高齢者が生きがいを持って暮らせる施策を進めてまいります。

私も70代でございますが、人生を物語に例えると、町と共に生きてきた70年の物語であると感じております。町民一人一人の人生があり、物語があります。「ふるさとを創る」人が住んでいて、町が創られてきました。小さな町ですが、これからも住み続けていただけるよう、人と町の物語が続いていくよう、努力してまいります。

結びに、本年が皆さまにとって明るく幸多き年となりますようご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

持続可能な町であるために

あけましておめでとうございます。年頭にあたり東庄町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては令和7年の新春を健やかに迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろより町政、議会活動に関しまして温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、今年は笹川町、神代村、橘村、東城村の1町3村が合併し東庄町となって、町政施行70周年を迎えます。誠におめでとうございます。これまで様々な課題があったことを記憶しておりますが、そのたびごとに、先人の方々が叡智を結集し議論を重ねて、乗り越えてきたその賜物だと思えます。ここに改めて先人の方々に敬意を表します。

町における現在の課題は言うまでもなく人口減少・少子高齢化の中で、いかにして安心安全な暮らしが継続していけるか、若い人たちが夢や希望をもって根を張って暮らしていくことができるかという事だと思えます。

本年も、議会改革特別委員会をはじめとする各委員会や勉強会などを通じて、皆さまのご意見ご要望が町政に反映されるよう、邁進してまいります。

本年も議会に対し、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

